TOP SAFETY REPORT

トップシリンジポンプ　その2

1 ルートと輸液状態の確認は、定期的に

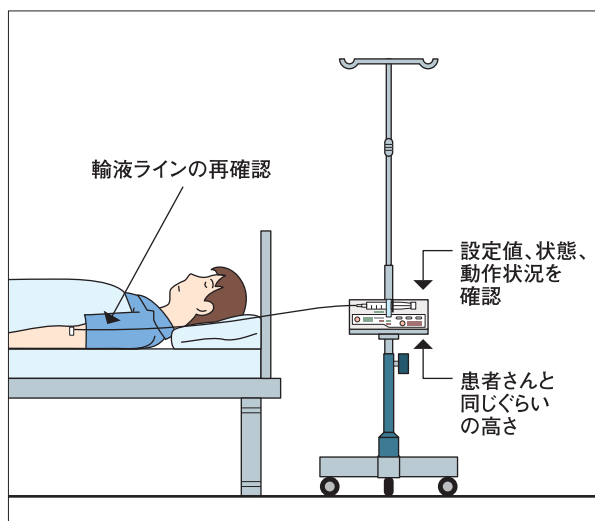
Check 1 輸液開始前には、必ずルートの確認を

輸液を開始する前にもう一度、輸液ラインの状態、シリンジの設置状態、接続部等を確認してください。

Check 2 輸液開始後に、そして定期的に確認を

輸液開始後に、もう一度設定値、シリンジの設置状態、シリンジポンプの動作状況等を確認してください。また、輸液中にも定期的に巡回時等に同様の確認をしてください。特に低流量で使用する場合は、輸液ラインの折れ等に注意してください。設定流量が低くなるにつれ、閉塞発生から検出までの時間が長くなるため、長時間、輸液が中断する場合があります。指差し確認等で注意深い観察をしてください。

※輸液ラインの外れ、フィルターの破損等による液漏れを検出することはできません。

※注射針が静脈より外れて血管外注入になった場合の警報機能は有していません。

2 バッテリーは常に充電を

Check 1 未使用時には、電源をコンセントに

保管時・未使用時には、AC電源に接続し、常に満充電にしておいてください。また購入後初めて使用する場合や、しばらく使用していなかった場合には、AC電源に接続し、充分に充電（24時間以上）を行ってください。充電が不充分な場合、停電発生時等に内蔵バッテリーでの動作ができなくなるおそれがあります。バッテリー使用は、移動中以外は最小範囲に止める様にしてください。

3 事故防止対策適合品のシリンジポンプをお使いください

厚生労働省医薬局長通知「輸液ポンプ等に関する医療事故防止対策について」を満足すると認定されたシリンジポンプには、Sマークが付いています。弊社のシリンジポンプは、全て適合品です。

本マークは医療事故対策のために設定された厚生労働省基準に適合することを示す業界の自主的なマークです。

株式会社トップ　安全管理部
〒120-0035 東京都足立区千住中居町19番10号

使用の際には、必ず詳細を添付文書及び取扱説明書にて確認してください。

P010712-10